

白杵市 施策評価シート  
(令和2年度)

評価担当者	課名	氏名	内線
	高齢者支援課	田中 美智子	1150

コード	I-3-7	施策名	介護保険制度の円滑な運営
施策の方針	高齢者がいきいきと安心して生活する		
まちづくりの方針	生活の土台を築き、笑顔あふれる市民が暮らすまち(健康福祉)		
5年後のめざす姿	高齢者が要介護状態や認知症にならないよう予防するとともに、要介護状態や認知症になっても、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、必要な医療・介護予防・住まいと生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の深化・推進を図ります。団塊の世代が後期高齢者としてピークを迎える2025(令和7)年を見据え、介護サービス等の充実をめざします。		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域での運動教室の立ち上げや保健・医療の専門家により短期間にサービスを提供し身体機能の向上を図る介護予防事業を推進します。</li> <li>生活支援コーディネーターや地域団体と協働して、地域の実情に応じた生活支援の仕組みづくりに取り組みます。</li> <li>高齢者が、出来る限り住み慣れた地域で生活できるよう地域密着型サービスの充実を図ります。</li> <li>認知症施策の推進として、早期発見・早期診療の体制づくりや支援ネットワークの構築を推進します。</li> </ul>		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
元気高齢者の割合		{65歳以上人口-(第1号要介護認定者+第1号要支援認定者+事業対象者)}/65歳以上人口×100	目標	割合	80.9	80.9	80.9	80.9	80.9	80.9
			実績		81.0	81.0				
			達成率		100.1%					
生活支援など多様な新しいサービスの利用者数		短期集中C(通所・訪問)、住民主体サービス、移動支援サービス利用者数	目標	人	75	85	95	105	115	
			実績		36	56				
			達成率		74.7%					
			目標							
			実績							
			達成率							
			目標							
			実績							
			達成率							
指標の分析	高齢化が進む中、サービスの必要性の高い後期高齢者の増加に伴い、要介護・要支援認定者や事業対象者が増え続けています。高齢者が、出来るだけ元気で住み慣れた地域で生活できるように、生活支援サービスや介護予防事業の充実を図り、多くの方が利用できるようなことが必要です。生活支援など多様な新しいサービスについては、サービスが必要な地域の把握や個別サービスが必要な対象者の選定などをすすめており、利用者数が徐々に伸びている状況です。更に、地域の特性に合わせた取り組みを行う必要があります。									

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度
市民意識調査結果(R2調査)	向上領域	2.64	2.04
	令和2年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」とも高く、「向上領域」に位置しており、取り組みの向上や維持が望まれています。		
市民意識調査結果分析	令和2年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」とも高く、介護保険関連の事業の充実が市民に周知されていると思われます。引き続き、高齢者の生活支援に関するサービスや、高齢者の重度化の防止に取り組む必要があります。		

<次年度以降の課題>

令和3年度以降の課題	事業を円滑に推進していくためには、地域包括支援センターとの連携が軸となることから、さらに意識と情報の共有化に努めていく必要があります。元気高齢者を増やし重度化させないため、地域での介護予防教室の立ち上げや生活支援サービスなどの仕組みづくりへの支援が必要です。今後も、各地域の特性や必要度にあわせ内容の検討を行います。認知症に対しては、早期発見・早期診療のため、認知症短期集中チームを周知することや、地域での支援ネットワークの構築のため関係機関との連携が必要です。
------------	---

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R1年度実績	R2年度実績	R3年度見込み			
1 介護保険給付事業	要支援・要介護者が利用した介護サービスに対する保険給付をします。	高齢者支援課	○	4,010,973	4,174,028	4,437,150	継続		
2 地域包括支援センター事業	高齢者の総合相談、権利擁護等を白杵市医師会への委託により実施します。	高齢者支援課		52,948	52,948	52,948	継続		
3 介護予防・日常生活支援総合事業(新総合事業)	予防給付から地域支援事業へ移行された通所介護及び訪問介護サービスを行います。	高齢者支援課	○	175,624	155,863	193,627	重点継続		
4 生活支援体制整備事業	生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置等により、高齢者が地域で出来るだけ長く生活するために必要なサービスを創出します。	高齢者支援課	○	7,218	6,467	12,655	重点継続		
5 在宅医療介護連携推進事業	在宅医療と介護サービスを一体的に提供し、人生の最期まで住み慣れた地域で生活できるよう支援します。	高齢者支援課	○	4,561	4,454	4,536	重点継続		
6 認知症予防・認知症対策	認知症の早期発見・早期治療や認知症支援ネットワークの構築	高齢者支援課	○	17,184	21,125	24,226	重点継続		
7									
8									
9									
10									
合計				4,268,508	4,414,885	4,725,142			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	高齢化に伴い、介護保険の制度は、高齢者の生活に必要なサービスとして定着しています。	課長評価
概ね順調	要介護者や支援が必要な高齢者が増加しているため、元気な高齢者を増やし高齢者が出来るだけ地域で生活できるよう、地区組織や地域包括支援センター、介護事業所、社会福祉協議会等と連携しながら、生活支援サービスの構築や介護予防事業の推進、認知症のネットワークの構築による見守りなどに取り組んでいきます。	重点施策であり、計画終了(2024年)までに強化する

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

内部評価	令和2年度においても、取り組みを強化して実施しているが、継続した内容が主であったため、重点施策として実施しているものと評価。
重点施策であり、計画終了(2024年)までに強化する	

<白杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

評価のコメント	外部評価
家庭内で介護を行うことが困難になっている。様々な事業者をお願いすることが今後も増えてくることが想定される。使いやすく、融通が利き、利用しやすい、様々なサービスが提供できるようにしてほしい。介護認定が決定するまでの間は家族がより不安を感じると思う、情報提供など細かなケアに努めてほしい。	強化

<白杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

高齢者が、要介護状態や認知症になっても安心して地域で暮らせるよう、介護保険のサービスを充実させながら、円滑な介護保険制度の運営を図ってきたい。介護認定やサービスが安心してうけられるよう、行政やケアマネジャーなどの専門職の連携を推進する。
--